

清算としての終末

シリーズ～終末を生きる～

2018/1/28

マタイ福音書25章31～46節

人の子は、栄光に輝いて天使たちを皆従えて来るとき、その栄光の座に着く。そして、すべての国の民がその前に集められると、羊飼いが羊と山羊を分けるように、彼らをより分け、羊を右に、山羊を左に置く。そこで、王は右側にいる人たちに言う。『さあ、わたしの父に祝福された人たち、天地創造の時からお前たちのために用意されている国を受け継ぎなさい。お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渴いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。』

すると、正しい人たちが王に答える。『主よ、いつわたしたちは、飢えておられるのを見て食べ物を差し上げ、のどが渴いておられるのを見て飲み物を差し上げたでしょうか。いつ、旅をしておられるのを見てお宿を貸し、裸でおられるのを見てお着せしたでしょうか。いつ、病気をなさったり、牢におられたりするのを見て、お訪ねしたでしょうか。』そこで、王は答える。『**はっきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。**』

それから、王は左側にいる人たちにも言う。『呪われた者ども、わたしから離れ去り、悪魔とその手下のために用意してある永遠の火に入れ。

お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせず、のどが渴いたときに飲ませず、旅をしていたときに宿を貸さず、裸のときに着せず、病気のとき、牢にいたときに、訪ねてくれなかったからだ。』

すると、彼らも答える。『主よ、いつわたしたちは、あなたが飢えたり、渴いたり、旅をしたり、裸であったり、病気であったり、牢におられたりするのを見て、お世話をしなかったでしょうか。』そこで、王は答える。『はっきり言うておく。この最も小さい者の一人にしなかったのは、わたしにしてくれなかったことなのである。』こうして、この者どもは永遠の罰を受け、正しい人たちは永遠の命にあずかるのである。」

終末に行われる裁き

- 「人の子」(イエス・キリスト)が裁きの座に着く
 - 最初に来られた時には、人類の罪を背負うために「僕(しもべ)」の姿であった
 - 今度は「**審判者**」として全人類の前に立たれる
 - 「イエスは、…生きている者と死んだ者との審判者として神から定められた者である」使徒10:42
- 不公平な世界は終わりを告げる
 - 人間は善悪を判断し、悪を裁いているが、不完全であり、不十分である
 - 神はすべてをご存じであり、公平に裁かれる
 - 人類はそれを予感してきた(あらゆる宗教で語られる)

羊と山羊のたとえ

- 永遠の御国を受け継ぐ人たち

- 「**わたしが** 飢えていたときに食べさせ、のどが渴いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれた」

- 彼らはイエス様にしたとは思っていない

- 「主よ、いつわたしたちは、飢えておられるのを見て食べ物を差し上げ…」

- 困っている人を助けたことを主は知っている

- 「わたしの兄弟であるこの**最も小さい者**の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」

羊と山羊のたとえ

• 永遠の罰を受ける人

- 「お前たちは、**わたしが** 飢えていたときに食べさせず、のどが渴いたときに飲ませず、旅をしていたときに宿を貸さず、裸のときに着せず、病気のとき、牢にいたときに、訪ねてくれなかった」

• 彼らはイエス様が困っていたとは思っていない

- 「主よ、いつわたしたちは、あなたが飢えたり、渴いたり、旅をしたり、裸であったり、病気であったり、牢におられたりするのを見て、お世話をしなかったのでしょうか」

• 彼らは困っていた人を助けなかった

- 「**この最も小さい者**の一人にしなかったのは、わたしに してくれなかったことなのである」

キリストが教える審判とは

- **隣人を具体的に愛したかどうか**が裁かれる
 - 困っている人に対してどのように行ったか、神はご存じである
- 何かしたことは評価され、**何もしなかったこと**も裁かれる
 - 助けるべき時に助けなかったことも記録されている
- 困っている人たちは“**愛のテスト問題**”である
 - 「最も小さい者」とは自分には関係ないように思える人たちのことである

“信仰による救い”との整合性

- “愛さない”ことで裁かれるなら、裁かれない人はいないのではないか？
 - そのとおり!これは教訓を教える“たとえ話”である
- すべての罪はイエス・キリストを信じる信仰によって赦されるのではないか？
 - そのとおり!
 - 「イエス・キリストを信じることにより、信じる者すべてに与えられる神の義です。そこには何の差別もありません。」ローマ3:22
 - しかし“愛する”努力は生涯続けなければならない

言い訳の達人

私には関係ない

私にはできない／ニガテだ

今度やります

自分のことで精いっぱい

時間がない
(お金がない)

他の人がやってくれる

助けて欲しいのは自分の方だ

おせっかい(余計なお世話)ではないだろうか

言い訳の達人、今年も卒業!

その人はイエ
ス様だ!

ニガテだがやっ
てみよう

今やります

自分のことで精
いっぱいだけど

無駄遣いして
いる時間とお
金がある

自分がやらな
ければ

情けは人のた
めならず

おせっかいだと
思われても

“愛の反対は無関心”

The opposite of love is not hate, it's indifference.

The opposite of beauty is not ugliness, it's indifference.

The opposite of faith is not heresy, it's indifference.

And the opposite of life is not death, but indifference between life and death.

愛の反対は憎しみではなく、無関心です。

美の反対は醜さではなく、無関心です。

信仰の反対は異端ではなく、無関心です。

そして、生の反対は死ではなく、生死に無頓着なことです。

＜1986年のノーベル平和賞受賞者でユダヤ人作家／ボストン大学教授のエリ・ヴィーゼルの言葉＞